

小豆島八十八か所霊場 150km 歩き遍路、高野山参詣道中記

恵谷 浩

四国八十八か所霊場 1,200km を一気に参拝（通し打ち）してから 2 年半、桜が咲き遍路に最も適したこの時期に、小豆島八十八か所霊場約 150km を徒歩で巡拝し、高野山に参詣した。小豆島は弘法大師空海が故郷の四国・讃岐の国と当時朝廷のあった京都との往来の途中に訪れ、何度も修行や祈念を行った地で、全国の霊場中唯一、八十八か所全てが弘法大師が開いた真言宗の寺院などであるという。



注) 赤色：寺院(納経所がある)/30 か所 黄色：堂・庵/50 か所 緑色：山岳霊場/14 か所 ただし、霊場か所は寺院の奥の院と番外の寺院を含む。

小豆島八十八か所霊場図

1. 小豆島歩き遍路

2018 年 3 月 25 日(日) 快晴・歩約 9km

5:15 自宅発。9:42 新幹線・新神戸駅着。11:20 ジャンボフェリー・神戸港出航/乗船券 2,290 円。今

年正月元旦の強烈な目まいと嘔吐による救急車搬送が頭をよぎり、不安と期待が入り混じる中、フェリーは波をけ立てて港から遠ざかる。明石海峡大橋をくぐり、1時間位すると3階デッキからの眺めは晴天なれど・波低しだが360度水平線のみ。瀬戸内海は島々が連なる多島美と思っていたが、小豆島を目の前にすると、さすが淡路島に次ぐ瀬戸内海第2の大きな島、高い山々が連なっている。最高峰は風光明媚な寒霞渓近くの星ヶ城山817mというが、目前の連山の最高点だろうか。島にある八十八か所霊場とあなどる気持ちが吹き飛び、自宅で測ったリュックサックの重量8kgを思うと身震い、いや武者震い。



7:15 新幹線車窓からの富士山



11:28 神戸港を後に



12:08 明石海峡大橋と淡路島



12:11 明石海峡大橋をくぐる



12:17 明石海峡大橋全体を眺める



13:34 360度水平線



14:21 小豆島を目前にする

坂手港で四国遍路のときに使った遍路姿になり、海岸近く沿いに歩くと、遍路案内板を見落としたのが行き止まりのため引き返す。この間約40分、遅れを取り戻そうと急ぎ、汗だくになりながら、14:40門前の桜はまだ1分咲きの3番・観音寺に着。数珠を持ち、合掌、簡単に読経で参拝した後、小豆島八十八か所納経帳と納札を購入。納経所で3番・観音寺とともに、1番・洞雲山、3番の奥の院、2番・碁石山の朱印を頂いた（堂・庵、山岳霊場には納経所がなく、決められた寺院で朱印を頂くことになっている）。住職の奥さんによると、小豆島では歩き遍路は極まれで、車遍路になってしまったという。

少し山に入った車道を上り、3番の奥の院、山道をさらに登り、2番・碁石山を参拝。夕陽展望台からの夕陽が美しい。山を下って1番・洞雲山の後、18:00、20日に予約していたベイリゾートホテルに着、泊・2食付9,180円。大浴場・温泉に入浴、体重測定では意外と減っておらず56.4kg。19:30から夕食・バイキング。豪華。しかし、今年元旦のことがありビールは自粛。



14:40 3番・観音寺門前と一分咲きの桜



14:59 観音寺本堂前に立つ筆者



3番・観音寺の墨書・朱印



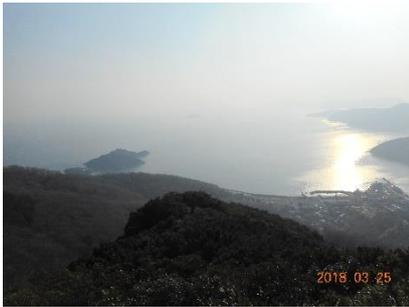
16:08 3 番の奥の院・隼山



16:09 風ノ子島と大角鼻灯台方面だろうか



16:12 2 番・碁石山



16:19 風ノ子島と大角鼻灯台方向か、夕陽に映える



16:23 1 番・洞雲山の鐘楼



16:25 1 番・洞雲山

3月26日(月) 快晴・歩約7km

7:00から朝食・バイクング、やはり豪華。8:15出発。海岸沿いの車道を進み、4番・古江庵、5番・堀越庵を参拝。海岸線から少し入った山道となり、多くの竹林を通り、6番・田ノ浦庵へ。次いで遍路からそれ、いつ見たか定かでないが高峰秀子主演・女先生の印象が強く残っている木下恵介監督による映画・二十四の瞳で一躍有名となった岬の分教場に寄った。校舎内には3教室があり、複式学級となっている。2名が並ぶ小さな机と椅子、オルガンが当時のまま保存されており、はるか小学生の時を懐かしく思われた。さらに、海岸沿いに二十四の瞳のロケ用オープンセットである二十四の瞳映画村が見渡すことができ、行った。そこには壺井栄文学館があり見学、また多くのバス観光客が訪れていた。さて、四国遍路では全行程を完全に歩いたが、現在の体力などから、そこまでこだわらない方が良くと考え、映画村からベイリゾートホテル近くにある10番・西照庵の手前までをバスに乗り引き返した。



8:31 4 番・古江庵



9:02 湾向こうにベイリゾートホテル



9:33 5 番・堀越庵



9:55 竹林の道



10:39 6 番・田ノ浦庵



10:47 二十四の瞳・岬の分教場



10:52 複式学級教室



10:55 廊下と教室(左)

12:30、10番・西照庵参拝。小豆島は醤油・佃煮産業が盛んだそうで、初めて知った。明治時代に建てられた工場もある醬の郷を進む。丸金醤油など全国銘柄も数か所、観光客も多い。これまで小豆島と言えば、二十四の瞳、オリーブ、そうめんと思っていた。さらに歩き、7番・向庵では初めて遍路姿の人達に出会った。マイクロバス遍路である。8番・常光寺では桜が大分咲き始めていた。ボトルに入れた自販機の果汁飲料などをゴクゴクと飲みながら、9番・庚申堂、11番・観音堂、12番・岡ノ坊、13番・栄光寺を参拝。8番と13番では朱印を頂いた。粟地ダムを過ぎると山道となり、14番・清瀧山を参拝後、同じ道を引き返し、夕陽に染まる粟地ダムが映える。12番に直ぐ近くのひろきや旅館に18:20着。やはり20日に予約していたが、18:00からの夕食を入浴後の19:00からに遅らせてもらった。汗だくとなり歩き、元旦のことはどこえやら缶ビール350mlを飲んでも美味しいのみ。2食付7,236円。



12:31 10番・西照庵



12:47 醬の郷



12:59 7番・向庵



13:08 極楽橋を渡れば8番・常光寺山門



13:10 8番・常光寺本堂



13:38 9番・庚申堂



14:06 11 番・観音寺と大銀杏の木



14:46 12 番・岡ノ坊



15:00 13 番・栄光寺の山門



15:05 13 番・栄光寺の本堂



15:05 13 番・栄光寺の大師堂



15:51 粟地ダム



16:47 山道だが手すりに助けられる



16:57 14 番・清瀧山



17:51 夕陽に映える粟地ダム

3月27日(火) 快晴・歩約15km

朝食後、ひろきやの車で21番・清見寺の門前まで送ってもらった。21番・清見寺では21番とともに、20番、22番、23番、87番の堂・庵の朱印を頂いた。何としたことが、帰宅してからようやく気付いたが、この後、前日遅くなったため、繰り延べして参拝と考えた16番・極楽寺、15番・大師堂、17番・一ノ谷庵のことを忘れてしまい、参拝しなかった。このため、16番・極楽寺とともに17番・一ノ石庵、18番・石門洞、19番・木ノ下庵の朱印を頂けなかった。しかし、15番については前日、13番で朱印を頂いており、また、18番、19番については後刻参拝した。

内海ダムを通り過ぎ、9:50に20番・仏ヶ滝参拝。猪谷池横から山道となり、11:00に18番・石門洞に到着、参拝。石門洞の本尊は岩山の真つ暗な洞窟内にあった。20番・仏ヶ滝へ引き返す山道ではゆっくり歩き、中学生のときの修学旅行で行ったことのある伊勢の海上にある二見ヶ浦の夫婦岩に似ている

二見岩などを楽しみながら、20番の近くへ。ここで、日本三大渓谷美と言われているという寒霞渓を少しでも見ようと思い、寒霞渓ロープウェイ乗場・紅雲亭駅まで足を延ばした。だがしかし、山頂までの眺めが良いとのこと、期待はずれとなった。さらに引き返して13:30、19番・木ノ下庵参拝。22番・峯ノ山庵、23番・本堂参拝の後、草壁港から少し山道に入り、15:00、24番・安養寺を参拝し、24番とともに25番・誓願寺庵の朱印を頂く。



8:06 21番・清見寺の鐘楼山門



8:07 21番・清見寺の本堂



9:27 山道にある石碑



9:52 20番・仏ヶ滝



9:54 20番・仏ヶ滝の本尊堂



9:56 20番・仏ヶ滝の洞窟



10:13 猪谷池



10:54 二見岩



10:58 織岳(別名:天柱岳)



10:03 18番・石門洞の鐘楼



11:04 18番・石門洞



11:08 18番・石門洞の本尊



11:21 螺貝岩(ほらがいいわ)



12:26 内海ダム



13:02 19 番・木ノ下庵



13:36 22 番・峯ノ山庵



13:42 22 番・峯ノ山庵鐘樓、遠方に造船所



14:02 23 番・本堂と筆者



15:00 24 番・安養寺

15:30 に 25 番を参拝。竹林が多い山道を進み、大師の御水井戸からつるべを下ろし水をくみあげ、一口飲んでみた。暑さの中、冷たい水が喉を潤す。16:00 に 27 番・桜ノ庵参拝、16:20 に 26 番・阿弥陀寺を参拝し、26 番と 27 番の朱印を頂く。海岸沿いの国道 436 号線に下り歩き、少し引き返して 17:00 に小豆島オリブユース Hostel 着。入浴時、ウーン、前日生じた両足裏各 2 か所のマメがかなり大きくなるとともに、左膝関節が少し赤くなり痛い。前日の夜に予約したとき、遍路なので迎車を頼んだが、やっていないとのこと。ユース Hostel 以外には途中にも、他に旅館がないので仕方なく予約した。しかし、暑さの中、長距離を歩き、夕食に自販機の 500ml (350ml は売り切れ) 缶ビール・300 円を飲む。2 食付 5,676 円とさすがユース Hostel 安価。そのはず、タオル・浴衣無し、また宿泊者は他に 1 名のみ。



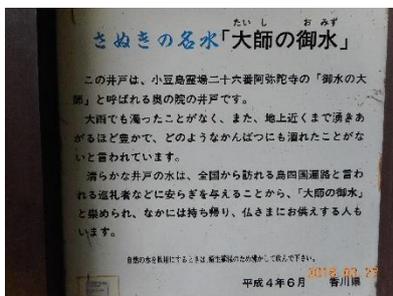
15:32 25 番・誓願寺庵



15:48 竹林の山道



15:51 大師の御水の井戸



15:54 大師の御水の解説板



16:04 ナシの花のようなスモモの白い花



16:08 27 番・桜ノ庵



16:26 26 番・阿弥陀寺の鐘楼



16:28 26 番・阿弥陀寺の本堂



16:28 26 番・阿弥陀寺の大師堂



16:49 国道 436 号線からの光景



16:49 夕陽に浮かぶ地蔵崎灯台方向か



16:59 小豆島オーリーブユースホテル

3月28日(水) 快晴・歩約24km

朝起きると、膝関節の赤みと痛みがかなり和らいでいる。朝陽に映える海が素晴らしい。5:30から朝食、夕食と同様に質素。7:15出発し、海岸線の国道436号線、それからやはりほぼ海岸線沿いに県道251号線を歩き、9:19、浮かぶ小さな島が目を引き。遍路道を示す矢印の設置方向が不適切、その横の階段を上って28番・薬師堂がない。道を行ったり来たりし、ようやく10:00、28番・薬師堂を参拝。10:40、先ほどの島は花寿波島と分かる。すっかり、濃霧に覆われ幻想的となっている。海岸沿いから内部に入り、車道を峠越えして、29番・風穴庵参拝。少し山道の車道となり、富士峠を越えるなどして眼下の光景を楽しみながら歩き、山道となり、13:10、30番・正法寺を参拝。さらに県道250号の海岸沿い車道を歩を進め、31番・誓願寺参拝。ここには国指定天然記念物で高さ6m、根元の周囲8mにもおよぶ巨大なソテツがあり、現在も成長を続けているという。膝関節の痛みと赤みがなくなった。歩くことで負荷がかかり自然治癒力が増すのだろう。しかし、マメによる痛みはさらにひどくなった。



6:23 日の出、右は二十四の瞳の岬の分教場付近だろう



9:19 花寿波島(中央)



10:08 28 番・薬師堂



10:40 海の濃霧にむせぶ花寿波島



10:41 花寿波島の解説板



11:59 29 番・風穴庵の本尊



12:40 土庄港(右)とゴミで有名な豊島(左)だろう



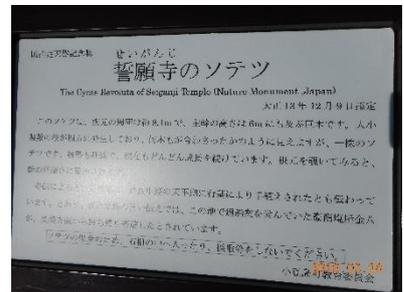
13:06 手すりの付いた階段山道



13:12 30 番・正法寺の山門と本堂



14:04 31 番・誓願寺の山門



14:05 ソテツの説明板



14:10 31 番・誓願寺の大ソテツ



14:13 31 番・誓願寺の本堂

15:13、34 番・保寿寺庵着、桜は満開。車道を小豆島ふるさと村から少し山に上がり、トンネルを抜けると、そこは 32 番・愛染寺、32 番と 34 番の朱印を頂く。海岸近くを進み、33 番・長勝寺から、大分内陸部に入り、16:50、同じ敷地内にある国宝の 36 番・釈迦堂、37 番・明王寺を参拝。さらに歩いて、38 番・光明寺、39 番・松風庵、35 番・林庵と進んだ所で、前日の予約で 19:00 以前で池田港近くだと何番にでも車で迎えに行くとのことだった国民宿舎小豆島に電話して頼んだ。入浴。想定以上に 51kg と随分痩せているが、体重計がくるっているのでは。遅くなったので、夕和定食を取って置いてもらい 19:30 から食事、自販機の缶ビールは持ち込み禁止で、中ビンビール 600 円しかなく、快晴の下、長時間の歩きだったので、ゴクゴクと飲む。2 食付 10,950 円、設備・食事が良く相応な値。



15:13 34 番・保寿寺庵



15:34 32 番・愛染寺の山門



15:42 32 番・愛染寺の本堂



15:43 32 番・愛染寺の鐘楼



16:11 宝生院の樹齢約 900 年の真柏



16:27 33 番・長勝寺の門前



16:36 33 番・長勝寺の本堂



16:50 36 番・釈迦堂



16:56 37 番・明王寺の鐘楼



17:12 38 番・光明寺の門前と鐘楼(右)



17:14 38 番・光明寺の本堂



17:40 39 番・松風庵



18:16 35 番・林庵



18:16 林庵からの夕暮れの桜と池田港



18:23 夕暮れの池田の街並みと長者ヶ鼻か(左)

3月29日(木) 快晴・歩約27km

7:00 から朝食、8:00 出発。国民宿舎小豆島の直ぐ近くにある城山の桜公園は、昭和29年に二十四の瞳で高峰秀子が演じる大石先生と児童達が機関車ごっこをして遊んだシーンのロケ地である。昨日通った海岸線近くを進み、9:20に40番・保安寺を参拝。山道を上り、10:40、41番・仏谷山に着。甘酒を勧められたが、先を急ぐ。ここからの眺めに、引き潮の時には砂浜の道ができ渡ることの出来る余島がある。大切な人と手をつないで渡ると願いがかなうと言われているエンジェルロードである。しかし丁度、残念ながら引き潮でなく砂の道は見えなかった。岩場道を進み、11:15、42番・西ノ瀧。前日、明王寺の副住職の奥さんが勧めてくれた山中峠への車道に入り、昨日参拝した36番と37番の直ぐ下を行き、12:35、頌徳の大きな桜の木の下で、花見をしながらパンなどで昼食。14:00、43番・浄土寺に着。45番・地藏寺堂を過ぎ、山道を登ると、何んと猪が侵入してくるのを防ぐ柵に出くわす。鉄の棒を上引き抜き、通ったら元に戻し、戸を閉めることと表示されている。この道は確かに、小豆島霊場会が発行した「おへんろ道案内図帳」に書かれた遍路道である。柵は新しいものなので、案内図を作成したときにはなかったのだろう。これまでも山道で何度も猪が餌を探して地面を掘った跡を見かけた。ああー、これも修行なのかと、南無大師遍照金剛と金剛杖の鈴の音が大きくなるように強くつきながら進んだ。



8:00 桜とスモモの花と国民宿舎小豆島



8:06 城山の桜公園近くの桜



9:17 40番・保安寺



9:19 40番・保安寺の鐘楼門



9:24 40番・保安寺の本堂



9:59 ツツジの花咲く山道



10:41 41番・仏谷山の門前



10:50 41番・仏谷山の祈禱道場前の筆者



11:00 エンジェルロードの余島(中央やや右)



11:18 42 番・西ノ瀧の本尊前にて



11:25 42 番・西ノ瀧の岩屋



12:28 頌徳の大きな桜



14:03 43 番・浄土寺の山門



14:07 43 番・浄土寺の本堂



14:09 43 番・浄土寺の鐘楼(中央)と茅葺き屋根



14:25 45 番・地藏寺堂



14:35 猪侵入防止柵、中央は遍路道表示板

14:53、44 番・湯舟山参拝。山中の千枚棚田は、日本の棚田百選に指定され、島にも伝統の農業が守られており、その景観に感動。47 番・梶尾山から急坂を上り、48 番・毘沙門堂、46 番・多聞寺へ。ここから県道 252 号の後、17:00 に 74 番・円満寺参拝。県道 26 号線に移り、17:50、49 番・東林庵。18:00、50 番・遊苦庵、夕暮れがせまる。少し山道に入り、18:25、54 番・宝生院に着き、18:30、51 番・宝幢坊ではすっかり暮れてしまった。直ぐ近くのはずの 52 番・旧八幡宮が見えない。仕方ない、明日にしようとして県道に下った後、土庄港の街並みを歩く。街の灯でヘッドランプをつけずに済む。19:40 に旭屋旅館着。入浴し、20:30 から夕食。自販機の 500ml 缶ビール・300 円。2 食付 7,020 円。



14:53 44 番・湯舟山



15:06 中山の千枚棚田/実際は約 800 枚という



15:29 47 番・梶尾山



15:52 48 番・毘沙門堂



16:09 46 番・多聞寺の山門



16:11 46 番・多聞寺の本堂



17:04 74 番・円満寺の本堂



17:46 49 番・東林庵



17:58 50 番・遊苦庵



18:26 54 番・宝生院



18:26 54 番・宝生院の鐘楼



18:32 51 番・宝幢坊

3月30日(金) 快晴・歩約19km

朝食 7:00、7:50、昨日、参拝できなかった52番のことを忘れてしまい、旅館の車で55番・観音堂へ送ってもらった。さらに忘れが重なり、観音堂で写真を撮ろうとすると、バッテリーが入っていない。電話して充電で忘れていたものを取ってきてもらった。山道を歩き、8:30に56番・行者堂着。行者堂の裏には、3メートル立方もある巨大な岩がある。この岩は皇踏山からゴロゴロと転がり落ちてきて、一緒に歩いていたお供の人達が立ちすくんでしまった時、先頭の大師が錫杖をかざし念じた。すると岩は止まり、人々はその岩を盤座として、行者堂を建てたという。昨日通った道を進み、車道に移り、後日分かったことだが、64番・松風庵と58番・西光寺を参拝せずに通り過ぎてしまっていた。このため、58番・西光寺と64番・松風庵、59番・甘露庵、60番・江洞窟、61番・浄土庵、62番・大乘殿、63番・蓮華庵の朱印を頂けなかった。ただし、59番、61番、62番、63番はこの後、参拝した。海岸近くの県道254号を進み、少し山に入った所で、10:20に59番・甘露庵着。県道254号のトンネルをくぐり、11:40、60番・江洞窟着。ここの本尊は真っ暗の洞窟の中にある。また、陽が昇る方向を見つめる大師像があり、さらに香川県の特徴ある形の屋島がくっきりと望まれた。海岸沿いを歩き、13:00に61番・浄土庵参拝。この辺りは、これまでも勝り海水が澄んできれい。県道は海岸線から入り峠を越し、土

庄港に帰った後、山道に入り、14:50、一つの建物で連なっている 62 番・大乘殿と 63 番・蓮華庵を参拝。



8:10 55 番・観音堂



8:34 56 番・行者堂の磐座の岩



8:37 56 番・行者堂



10:23 59 番・甘露庵



11:36 柳漁港の向こうに 60 番・江洞窟



11:39 60 番・江洞窟



11:44 60 番・江洞窟の本尊



12:30 陽が昇る方向を見つめる大師



12:35 香川県・屋島がくつきり(中央)



12:53 下にウミガメ産卵の地がある



13:05 61 番・浄土庵の鐘楼



13:50 特段に澄み海藻がよく見える海



13:57 澄んだ海水と砂浜



14:58 62 番・大乘殿(左)と 63 番・蓮華庵(右)